

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルプロ藤沢並木台 新築工事	階数	地上1F
建設地	神奈川県藤沢市並木台二丁目10-10、10-11、10-12	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年12月7日
敷地面積	4,184㎡	作成者	株式会社 悠設計
建築面積	2,225㎡	確認日	2019年12月7日
延床面積	2,193㎡	確認者	株式会社 悠設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.1
耐用性	2.8
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	4.5
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> メイン道路に面する壁面はできるだけ後退させた位置に配置し、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画とした。また、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮しました。	<b>その他</b> 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b> 天井高さを4.5m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。また、壁・天井の仕上げ材等にもF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑える様に配慮しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 店内はバリアフリー仕様とし、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮しました。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 計画敷地内には出来るだけの植栽を計画し、周囲の環境に配慮し、良環境の創設・維持に努めます。	<b>LR3 敷地外環境</b> 空調機器はノンフロン冷媒を採用し、排熱についても直接道路に排出しない様に配慮しました。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明機器はLED機器を採用し、空調機器に関してはCOPの高い機器を採用しました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特にありません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される